

# 七尾市 議会だより



第 32 号

## INDEX

定例会の概要	2
代表・一般質問（12名が登壇）	3～8
採決結果一覧、臨時会概要	9
常任委員会視察報告	10～12
議会報告会について	13
提出された議会議案・議会の動き	14



飛鳥Ⅱ入港歓迎式典(於)七尾港太田埠頭：2012.10.3

# 一般会計補正予算 3億7,030万7千円増額

第3回定例会は9月3日から9月26日までの会期で行われた。市長から提案された平成24年度七尾市一般会計補正予算などの議案18件、報告11件が各常任委員会及び平成23年度決算審査特別委員会に付託され、審議された。最終日には各常任委員長及び決算審査特別委員会委員長から委員会における審査の経過と結果が報告され採決を行った結果、議案が全て可決、決算に係る議案3件は認定・可決された。また、七尾市選挙管理委員選挙で、委員・補充員の各4名が指名推選で当選した。その後、追加議案3件、同意案1件の提案理由説明が行われ、採決した結果、可決・同意された。また、意見書に関する議会議案14件、全てが可決され閉会した。

## 平成24年度七尾市一般会計補正予算(第3号)

◇現計予算に3億7,030万7千円を追加し、総額316億5,341万7千円とするもの。

### 主な追加補正

- 総務費
  - ◇ケーブルテレビ事業特別会計繰出金 870万円
- 民生費
  - ◇地域住民の支え合い活動支援事業費 158万5千円
- ◇私立保育所施設整備費補助金 1億4,913万4千円

- 衛生費
  - ◇一類疾病等予防接種事業費 1,679万8千円
- ◇健康増進施設魅力向上事業費 478万1千円

- 労働費
  - ◇緊急雇用創出事業費 1,705万5千円
- 農林水産業費
  - ◇市単漁港整備事業費 391万7千円

- 商工費
  - ◇観光振興総務事務費 150万円
- 土木費
  - ◇除雪機械導入事業費 1,454万4千円

- ◇徳田12号線道路改良事業費 5,000万円

- 消防費
  - ◇津波対策事業費 585万8千円

- 教育費
  - ◇エネルギー教育備品整備事業費 51万2千円

- 災害復旧費
  - ◇現年発生河川等災害復旧事業費(単独) 1,400万円



平成24年度七尾市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

◇現計予算に870万円を追加し、総額5億4,859万9千円とするもの。

平成24年度七尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◇現計予算に8,462万7千円を追加し、総額68億9,845万8千円とするもの。

平成24年度七尾市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

◇現計予算に95万円を追加し、総額3億5,893万4千円とするもの。

平成24年度七尾市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

◇現計予算に1,274万6千円を追加し、総額37億6,298万5千円とするもの。

### 条例の改正

◇七尾市災害対策本部条例の一部を改正する条例について  
◇七尾市税条例の一部を

改正する条例について  
◇七尾市公民館条例の一部を改正する条例について

### その他

- ◇新たに生じた土地の確認について
- ◇町及び字の区域の変更について
- ◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- ◇七尾鹿島広域圏事務組合の解散について
- ◇七尾鹿島広域圏事務組合の解散に伴う財産処分について
- ◇七尾鹿島広域圏事務組合の解散に伴う事務の承継等について
- ◇平成23年度七尾市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成23年度七尾市水道事業会計の認定について
- ◇平成23年度七尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

# 七尾市の基幹交通網の整備について

灘会

答弁：県に強く要望している

杉木 勉 議員  
(灘会)



杉木議員 能越道開通に合わせた道路整備網として、国道249号藤橋バイパスや国道159号七尾バイパスの開通も平成26年度末までの完成を国や県にお願いしており、また、北陸新幹線開業に

合わせた形で和倉温泉街

路整備事業も平成26年度の完成を要望しているが26年度で事業完成するのかが伺えます。

武元市長 国の事業として、能越道灘浦インターから七尾インター間、国道159号七尾バイパスについては、平成26年度供用予定という形で国も事業を進めていると聞いていますので、間違いのないものと期待しています。県が事業主体の県道、国道ですが、国道249号

藤橋バイパスの国分町から小島町間に至る藤橋バイパスの2期区間ですが、

昨年からの新たに事業着手し、現在精力的に用地買収を進めています。本年3月からの一部工事着手後も引き続き整備促進に努めていくと聞いています。また、県道の七尾道路、七尾・鳥屋線ですが、細口町と東三階間で現在工事が進められており、引き続き整備促進に努めていくと聞いています。また、和倉温泉街路

整備については、現在湯

つ足りパークから湯元の広場までの整備を平成20年度から取り組んでいるところで、今年度は、弁天崎源泉公園側から道路拡幅及び無電柱化工事にも着手すると聞いています。1日も早く完成していただくよう県に強く要望しているところです。

## ●その他の質問項目

- 保有している遊休資産
- 世界農業遺産



能越自動車道建設現場

## 市民クラブ 七尾駅南口の整備について

答弁：再度、JRさんに相談をしていきたい

佐藤 喜典 議員  
(市民クラブ)



佐藤議員 七尾駅は、北側改札口の利用のみとなつています。新幹線金沢開業を地元の活性化につなげるためにも、駅周辺のまちづくりを進めるため、鉄道で分断された南北の地域を一体化する

ことが重要です。そのために、歩道橋を設置するために、県・国・JR西日本など関係機関に対して要請、要望を行つていく考えはないのか。また七尾線の利活用や活性化のために、駅南口改札を設ける考えはないのか、あわせて伺います。

武元市長 これまでも地元の方々から要望があり、JRさんと協議をしましたが、基本的には多額の費用が必要であるという中で、具体的な事業実施

には至っていません。南口改札の設置については、切符の販売、改札のための職員の配置等々、JRさんの負担が大きくなるので、駅正面側の市有地とJRさんの土地を使って、南北をつなぐ自由通路を整備し、現在の改札口を利用するほうが現実的であると思います。同時に七尾駅には一般駐車場がありませんので、JRさんの駅構内の空いている地面を駐車場とすることにより利用者の方々

の利便性も上がるので、JRさんに御理解と御協力をいただくのがベターだと思つています。そういう意味では、再度、JRさんに相談をしていきたいと思つています。

## ●その他の質問項目

- 鳥獣被害対策
- 中学校再編整備
- 臨時・嘱託職員の特遇改善



七尾駅

# 礎 市長退任にあたって

答弁…大きな変動期、変化の時代であった

荒川 一義 議員 (礎)



荒川議員 この10年間で漢字一文字であらわすとしたらどういった文字になるのか、伺います。  
**武元市長** 10年間振り返りますと、大変大きな変動期、変化の時代であったと思います。そのよう

な意味では、変わるという「変」の字が上げられるかと思えます。自治体の合併、そしてまた、国の政治経済も大変大きな変動期でした。国の政権も自民党から民主党にかわる、そしてまた、総理もくるるとかわったということもありました。経済もリーマンショック、円高、日本の工場も県外、海外へ移転をするという状況の中で、国も地方に対する財源を大幅に削ってくる、そういう中で七

尾市も市民も大きく変わらなければならぬ、変わらぬと生き残れないという時代であったと思えます。こういった変化の中で七尾市は新しい時代を先取りし、それに向かつて変わっていかねば七尾市の存続は無理だろうと思えます。そういう意味では、ダーウインの進化論ではありませんが、変わるものだけが生き残るということに改めて思うわけです。そういう意味でも、私も変わ

- その他の質問項目
- 国際交流の推進
- 赤字国債法案の影響

- 能登島・鉦打診療所の今後のあり方
- いじめの原因と対策
- 中学校で応急手当を学ぶ必要性と取り組み
- 公民館の耐震化対策
- 城山陸上競技場の認定



答弁する武元市長

永崎 陽 議員 (清友会)



永崎議員 合併算定替え終了後の5年で対応する激変緩和期間終了後の交付税いわゆる一本算定を見直し、現時点での減額となる金額は計算できるかと思えます。今後、人

口減少等で交付税算定比はさらなる減額が予想されます。そのことから厳しい財政状況になることはわかりませんが、各種要望にこたえるため苦しいやり繰りが予想されます。ならば特例措置のあるうちにまちづくり基盤整備を進めておかなければなりません。その取り組み状況はどうなっているのか伺います。また、特例措置終了後、本市事業等の実施にどのような影響があるのか等の見通しも

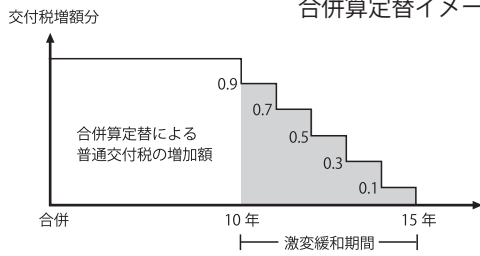
伺います。  
**武元市長** 普通交付税、あるいは臨時財政対策債を含めた実質交付税が平成32年度には一本算定になります。そうなりますと、現在の計算では約19億円減少すると見込んでいます。このことから

営に取り組んでいかなければならないと思っております。

●その他の質問項目

- 当市の現在の経済状況や雇用状況
- 交流人口拡大に向けた取り組み
- 市長退任
- いじめ問題
- 緊急防災情報告知システム整備
- かき殻処理
- 雇用促進対策事業
- 重要港湾整備事業

合併算定替イメージ図



## 普通交付税合併算定替え終了後の対応について

清友会

答弁：引き続き行財政改革を進める

# 七尾港の現状と活用について

等政会

答弁：県や地元経済と強い連携を図る

杉本 忠一 議員  
(等政会)



杉本議員 東日本大震災によって電力事情の原子力問題が国民的総議論になっていきます。七尾大田火力発電所は石炭です。3号機誘致の理解を求め、検討できないか伺います。

また、七尾港の活性化のために次々と施策も立てられているが、その効果についても伺います。

小川産業部長 誘致については、国のエネルギー政策の方向性や北陸電力の長期的な電力の需要と供給の計画に係わることであり、現段階では判断できる状況ではありません。また、効果ですが23年度事業の新たな貨物の誘致を目指した助成事業により、ロシア原木に代わる木材製材品は、七尾

海陸運送株式会社の上屋の評価が高く、取扱量がふえています。化学肥料も順調に輸入されており、取扱量の増加を期待しています。また、造船業など港湾活用産業の活性化に向けたニーズ調査を行った結果、近県では係留場所の問題や大きな船を整備できる造船会社が少ないことから、七尾港が作業船の修理や冬期保管場所となり得る可能性があるとわかりました。24年度には北米材原木の

日本海側の拠点を目指した取り組みや造船産業の船舶整備などの受注拡大を図るために福井、富山、新潟の漁協や関連企業へのセールズ活動を県や地元経済と強い連携を図り行っています。

- その他の質問項目
- 七尾広域圏の解散
- ケーブルテレビの業務委託
- 公設市場の民営化
- 中心商店街の振興策
- 西湾一周桟並木道作り



七尾港

## 矢田郷公民館の建設について

答弁：新市長に伝えていきたい

伊藤 厚子 議員  
(無会派)



伊藤議員 公民館協力を金

を納めている方の7割近い署名と要望書を受け取られ、どのような感想を抱かれてでしょうか。また、公民館の雨漏りのしみは広がる一方で、漏電も起こっており、老朽化

が大変目立っています。さらに、サンライフプラザの一室を借り事務所に使っていますが、何かにつけ本館とサンライフの事務所の間を行き来せざるを得ず、大変不自由な思いをさせられています。このような理由から新公民館建設は絶対に必要だと思えますが考えを伺います。

武元市長 要望書ですが、地域の皆さんの熱い思いは十分に受けとめています。このことは新市長に

伝えるべきです。現在の考え方を申し上げると、老朽化が著しいとのことですが、昭和57年に建設され、耐震化された建物として建設された最初の公民館でした。また、市内22公民館の中で耐震化されていない公民館が田鶴浜、中島公民館の2館あります。市としては耐震化されていない公共施設を一日も早く耐震化をしなければなりません。そのほか学校施設等々公共施設についても安全・

- その他の質問項目
- 防災対策の充実
- 図書館の整備促進
- 学校のいじめ対策

# 志賀原発について

答弁：国の調査結果に対する対応を注視する

議員 和典 議員

(無会派)



議員議員 原子力安全保安院は、志賀1号機の原子炉建屋直下を走るS1断層が活断層である可能性が高いことを発表しました。原発の耐震設計審査指針は、活断層の上に

原子炉建屋などは建ててはならないと規定しています。再調査でS1断層が活断層と認定されれば、立地不適格となります。そのS1断層の再調査を北陸電力が調査しますが、北陸電力が調査することには市民の疑問、不安が解消されないと思います。第三者による調査を国に強く求めるべきと考えるが見解を伺います。

武元市長 基本的には国の責任において、しっかりとすべきものであります。そういう意味で、国が追加調査の内容について厳しく調査し、信頼性が回復されるような調査結果が出なければ意味がないわけであり、国にこのことをきちっと厳しく言うのが我々の立場かと思っております。また、原子力規制委員会も正式に発足していない状況の中で、今後、この調査結果はどういう形になるか。10月末には中間報告、来年1月末に最終報告書が

国へ提出されると聞いていますが、あくまでも我々は国がこの調査結果に対する対応をきちっとするように、注視しているかざるを得ないと思っております。

- その他の質問項目
- 住宅リフォーム制度
- 子どもの医療費助成
- 子育て新システム
- 国民健康保険税
- 広域圏事務組合解散



志賀原子力発電所



福祉避難所

# 福祉避難所について

答弁：協定締結に取り組んでいきたい

松本 精一 議員

(礎)



松本議員 災害時における二次避難所としての福祉避難所指定について、昨年の3月31日現在では、県内の指定状況は10市町62施設でした。その後の県内における指定状

況について伺います。また、七尾市における指定については進んでいないということですが、何が原因で、どのような理由で遅れたのか伺います。奥井総務部長 県内の指定状況は、平成24年1月末現在で19市町のうち15市町で158施設が協定を結んでいます。七尾市は3月に1施設と協定を結んでおり、受け入れ可能人員は30人で3日間の食料や生活用品が確保されています。福祉避難所

として可能な施設については、施設自体の安全性、耐震化や耐火構造になっているか。また、要援護者の安全性の確保ということで、バリアフリー化されているか。要援護者の避難スペースが確保されているか。避難生活の空間があるか、そのような施設を指定するのですが、市としては、そのような施設に、開設、運営方針などを説明し、順次協定を結んでいきたいと考えています。なお、災

害時要援護者避難施設制度への登録者数とあわせて対象者の把握をしているところですが、少し遅れてはいますが、協定締結に取り組んでいきたいと思っております。

- その他の質問項目
- 全国高等学校総合体育大会
- 能登和倉万葉の里マラソン
- 地域包括ケアシステム
- 地域密着型小規模多機能施設の公募

# ひとり親の正規社員の支援について

答弁：支援制度の情報提供を行う

山崎 智之 議員

(市民クラブ)



山崎議員 ひとり親などの生活弱者を理由として、企業が採用を控えることなく、能力がある方を積極的に正規従業員として雇用できるように、企業側の受け皿づくりを築き上

げるために、行政みずからが主体的に企業と協議を行うべきではないでしょうか。考えを伺います。

小川産業部長 企業の採用選考については、法律で差別のない公正な採用を行うよう定められており、個人情報の取り扱いにも規定がされています。したがって、ひとり親を正規社員とすることへの企業への働きかけや協議を行うことについては、現在、考えていません。

しかし、市では就職のための間接的な支援、資格取得などについて支援しています。介護福祉士、看護師、保育士、作業療法士など、経済的自立に効果的な資格の取得を目指す母子家庭の母親に対しての支援を実施するとともに、ハローワークや石川県母子寡婦福祉連合会と連携しながら、ひとり親に対する就労、自立支援を行っています。今後もハローワークと連携しながら、ひとり親家庭

に対する支援制度の情報提供を行うなど、きめ細やかな対応を心がけ、ひとり親に対する就労、自立支援につなげていきたいと考えています。

## ●その他の質問項目

- 中小企業、伝統工芸、インターンシップの支援等
- スポーツ支援
- 行政システムの抜本的改革



ハローワーク七尾

# 平和写真パネル展について

答弁：児童・生徒にも触れていただきたい

山添 和良 議員

(市民クラブ)



山添議員 市長コラムの中で、「どんなことがあっても戦争してはならない」と書いてありました。また、平和写真パネル展の目的にも、戦争の悲惨さ、平和の尊さ・大切さを次世代に伝えるとともに

に、改めて市民の方々に平和の大切さを見詰め直す機会にしてほしいと訴えていました。今年度は市内4会場で行われ、内容も昨年度と比べ充実したものであったと思います。今期で任期満了となる市長には、今後こういった取り組みをどのように発展させようとしていたのか伺います。

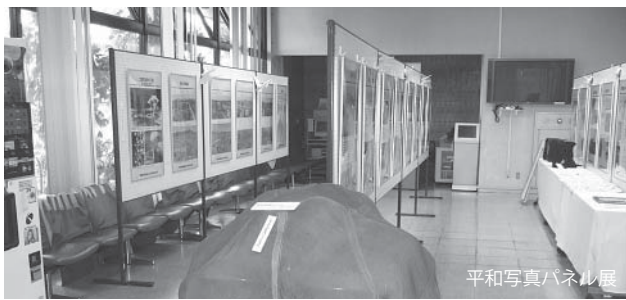
武元市長 今後も引き続き取り組みをしていかなければならないと思っています。今年度は七尾会

場がパトリアの1階から4階に変わったことにより、入場者数が減りました。来年度は、こういったことも踏まえ、多くの方に足を運んでいただくよう、そしてまた、若い世代、学校の児童・生徒の皆さん方にも触れていただきたいと思っています。最近では8月15日が何の日か知らない若者が多いとも聞きます。まして、戦争の悲惨さを映画の場面のような感覚で受け止め、現実に我々がそういった

時代を経験していることについての認識もないことから、学校と連携し、多くの児童・生徒が平和写真展や戦争体験者の話を聞く機会を増やしていければと思っています。

## ●その他の質問項目

- 原子力防災対策に関する越前市防災会議
- 学校職員の労働安全衛生管理
- 西エリアの中学校統合
- 少年科学館及び教育相談室の将来像



平和写真パネル展

# 御祓川の浄化について

答弁：水質浄化の啓発を今後も進めていきたい

木下 敬夫 議員

(礎)



木下議員 これまでもい

ろいろな浄化に向けた取り組みが行われてきたが、根本的な解決には至っていません。交流人口を指すまちなか観光も、すし王国の七尾の取り組みも関係者の御尽力もあり、

武元市長

かつて県内で

最も汚れがひどい川だと言われていましたが、その後、水質浄化の取り組み、市民活動や下水道の整備等もあり、一時はBODで申し上げると29・

0という高い数値のもの

が、平成15年には7・7にまで下がりました。平成19年では測定値が7・2にまで下がっています。そういう中で、市民の皆様方の川への関心、川をきれいにしようという市民活動のおかげで平成22年には4・5になり、環境基準値の5・0を下回っています。今後とも、下水道の接続促進、廃食用油の回収等の取り組み、そしてまた、桜川から御祓川へ流れる水の流量調

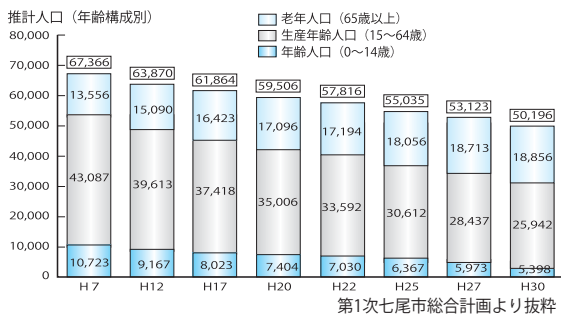
整も適宜やることにより、さらにきれいになるのではないかと思っています。同時に水質調査結果をホームページで公開をして、市民の皆さん方にも関心を持っていただき、水質浄化の啓発と自ら取り組みでいく形を今後も進めていきたいと思っています。

## ●その他の質問項目

- 交流人口拡大事業
- 防災対策の充実



御祓川



# 人口減少時代における自治体経営のあり方について

答弁：集落や企業も連携していかなければならない

岡部 俊行 議員

(灘会)



岡部議員 七尾市も全国的に少子高齢化が進む中で人口減少に歯止めがかかっていません。人口減少時代におけるまちづくりの基本的な方向性を伺います。

武元市長 基本的には地域でできることは自分たちでやるという自助。地域の中におけるお互いの助け合い、地域間の共同、共助が大事になってきます。そういった自助、共助で賄えない部分、あるいは支援するものが公助で、自治体の役割です。その中でも協働のまちづくりをさらに進めていかなければなりません。これまで集落独自でできていた行事等が、今後できなくなることもあり、集

落間の連携なども考えていかなければならない状況です。さらに、外からいろいろな人達を呼び込んでくる取り組みも必要になると思います。高齢者は自分でできることには限界があるので、地域福祉ネットワークを強固なものにしなければなりませんと思います。そういう中で、9月1日に施行した七尾市まちづくり基本条例はまさに市民が主役のまちづくりを進めるもので、人口減少を見据

えたまちづくりにも生かしていかなければならないと思っています。いずれにしても、持続可能なまちづくりをするためには、それぞれの集落や企業も連携をしていかなければならないし、議会や市民とともに自治体経営をしなければならぬ時代に入ったと思います。

## ●その他の質問項目

- 固定資産税



# 平成24年度第3回定例会採決結果一覧表

(賛否が分かれたもの)

議案名	審議結果	山崎智之	山添和良	佐藤喜典	木下敬夫	岡部俊行	磯貝和典	久保吉彦	杉木 勉	荒川一義	松本精一	伊藤厚子	垣内武司	永崎 陽	大林吉正	桂 撤男	高僧 弘	中西庸介	今田勇雄	杉本忠一	木下孝輝	
議案第81号 七尾市税条例の一部を改正する 条例について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号 平成23年度七尾市一般会計及び特別 会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第15号 税制全体の抜本的改革の確実な 実施を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第17号 北陸新幹線のフル規格による早期 完成に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第21号 デフレ対策の政策を求める意見 書	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第23号 緊急事態に対応する必要な法整 備を求める意見書	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第25号 2020年のオリンピック・パラリンピ ック競技大会の東京誘致に向けた決議	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 退は退席 ※議長 石川邦彦は採決に加わりません。

委員長 高僧 弘  
副委員長 木下 孝輝  
委員 松本 精一  
委員 杉木 勉  
委員 佐藤 喜典

・右記の3議案の審査を行うため決算審査特別委員会が設置され左記の方々が委員に選任され3日間にわたり審査を行った。

※議案第89号  
平成23年度七尾市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

※議案第90号  
平成23年度七尾市水道事業会計決算の認定について

※議案第91号  
平成23年度七尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

## 平成23年度決算審査特別委員会

## 平成24年第2回臨時会概要

・第2回臨時会は7月25日の1日間の会期で行われた。市長から提案された平成24年度七尾市一般会計補正予算(第2号)などの議案2件が各常任委員会に付託され、審議された。各常任委員長から委員会における審査の経過と結果が報告され採決を行った結果、議案が全て可決され閉会した。

◆議案第74号は、緊急防災情報告知システム整備工事の工事請負契約の締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議決を求めるものです。

七尾美術館の所蔵品の充実等のために、長谷川等伯筆「山水図」の購入に、1,800万円の追加を行うものです。

◆議案第73号の平成24年度七尾市一般会計補正予算(第2号)では、



購入した長谷川等伯筆「山水図」

総務企画常任委員長  
会は7月18日～20日の日  
程で、埼玉県戸田市、神  
奈川県茅ヶ崎市の行政視  
察を行った。

政策研究所の概要

- ③自治体組織の見直し  
・平成20年に大規模な組  
織改正を行う。

①目的

・将来にわたる持続的な  
発展、市民満足度の高い  
市政運営の継続

■自治体シンクタンク  
「戸田市政策研究所」  
つづいて

(埼玉県戸田市)

設置の経緯

- ①自治体経営の環境変化  
・平成12年に施行した地  
方分権一括法など、地方  
分権改革の進展により、  
基礎自治体への大幅な権  
限委譲。

- ②自治体経営の認識転換  
・自治体自身の責任と判  
断で進むべき内容を決定  
する「自立した都市経営」  
の必要性。都市間競争の  
時代により、競争に勝利  
するための政策形成力の  
向上が不可欠。

視察所感

戸田市は順調に人口が  
増加する中、国の地方分  
権改革が進む状況の中で  
都市間競争による「自治  
体の生き残り」を図るた  
めに、持続的な発展と市  
民満足度向上の継続を目  
的とした「政策形成力」

の向上を目指した。その  
結果が政策研究所の設置  
である。実際に職員の政  
策形成力の向上や政策形  
成の可視化（見える化）  
に一定の役割を果たして  
おり、大学との連携も進  
むなど、「政策形成力」  
向上という目標は達成し  
つつある。

一方で、テーマ設定に  
市長が最終決定者である  
ことや予算承認以外で議  
会の関与が制限されてい  
ることから、「市長選マ  
ニフェスト」に技術的お  
墨付きを与えるだけのこ  
とになる危惧もある。本  
市で採用する場合、議会  
政策形成力やテーマ決定  
の承認など、議会関与も  
検討すべきである。



埼玉県戸田市

■太陽光発電と電気自動  
車充電事業について  
(神奈川県茅ヶ崎市)

概要

- ①茅ヶ崎市地球温暖化対  
策推進計画  
・公共施設への太陽光発  
電設備導入、電気自動車  
普及のためのインフラ整  
備(重点施策)

- ・市長が地元企業「株ア  
ルバック」(真空技術や太  
陽光発電の製造ライン整  
備)へ相談。(株アルバッ  
クと協働で市営駐車場に  
設置することで合意。(事  
業費5,000万円、平成  
22年4月1日に稼働開  
始)

②設備

- ・太陽光発電システム  
(出力20kW、200W×  
54枚×2式)
- ・急速充電器(充電容量  
50kW、約30分で80%の  
充電)
- ・通常充電器(100V・  
200V併用普通充電器  
×3式)
- ・屋外モニタ、データ管  
理機器、無線通信システ  
ム、システムモニタ

課題

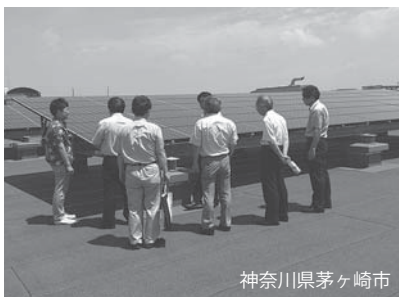
- ①EV普及や助成制度の  
導入により充電器利用者  
が増加  
・今後の「充電渋滞」対策  
の検討が必要。
- ・利用予約制の検討もE  
Vの進化等により新たな  
施策を講じづらい状況。

- ②充電料金の課金ビジネ  
スの構築  
・民間企業がインフラ整  
備をする場合、料金課金  
などのビジネス体系が構  
築される。  
・行政がインフラ整備を  
する必要性が減少する。

視察所感

充電器設置の発端が、  
地元企業との協働作業で  
ある。また、太陽光発電  
システムのみで、EV充  
電をカバーできるだけの  
電力を発電できず、既存  
の発電との併用で行って  
いる。以上のことから、  
コストがかかる蓄電設備  
が進んでいない状況で太  
陽光発電と一体的なEV  
充電設備の設置には慎重  
な検討が必要である。

一方、EV普及のため  
の助成制度の構築は、地  
方における新たなビジネ  
スモデルを検討するため  
にも今後、導入に向けた  
検討を進めていく必要が  
ある。



神奈川県茅ヶ崎市

教育民生常任委員長  
会は7月18日～20日の日  
程で、熊本県水俣市、佐賀  
県佐賀市の行政視察を  
行った。

■日本一の読書のまちづくりに  
ついて

(熊本県水俣市)

水俣市は「日本一の読書のまちづくり」を宣言しており、地域・家庭・学校・図書館、それぞれの読書活動を推進するというものである。将来像を「すべての市民が読書に親しみ、人生をより深く生きる生命安らぐまち」と位置づけ、画期的な取り組みを行っていた。その一つが、「みなまた環境絵本大賞事業」だ。水俣市は、水俣病というマイナスイメージを克服し、その教訓を糧に、環境実践活動と環境技術による経済活性化を促進することで、長年にわたって「環境モデル都市づくりに取り組んできた。その結果、2008年7月22日に政府より環境モデル都市に選定された。そうした環境首都みなまたを実現するための取り組みを「千年先まで紡ぎたい『想い』」として「日本一の読書のまちづくり」に活かしたのが「みなまた環境絵本大賞事業」だ。今年、第3回目であり、地元の水俣市民が大賞をとるのを楽しみにしているという。

また、「ブックポスト」を市内のコンビニエンスストアに設けた取り組みもすばらしい。図書館で借りた本や資料を時間外でも返却できる「ブックポスト」を市内のコンビニエンスストアに設けたことで、利便性が向上したという。これを契機に、もっと読書の盛んな街にしたいと担当者は話されていた。



熊本県水俣市

■地域とともに育つ校舎  
一体型小中一貫校としての  
取り組みについて

(佐賀県佐賀市)

佐賀県佐賀市立北山校では「地域とともに育つ校舎一体型小中一貫校」としての取り組み実践の説明を受け、また地元の木材を利用した木造校舎を見学した。「小中一貫校」については、佐賀市と

して平成2年度から小中連携教育を推進しているとのこと。平成18年度芙蓉校、平成20年度が視察を行った北山校、平成22年度思斉館、平成24年度松梅校、平成25年度(予定)三瀬小、平成26年度(予定)富士小、富士南小・富士中といった概要説明があった。北山校は、小学部44名、中学部20名の小規模校である。小学校1～4年生にあたる「前期」、小学校5～中学校1年生にあたる「中期」、中学校2、3年生にあたる「後期」には、それぞれ「基礎・基本を繰り返し習熟を図り、基本的な生活習慣を身につけさせる」「基礎・基本を確実に身につけさせ、論理的思考を伸ばし、規範意識を高める」「基礎・基本を応用し、個性を伸ばし、社会性を育む」という学びの姿勢があり、北山校の教育システムの大きな柱となっている。そうした学校を支える地域住民の方々の思い入れは強く、学校行事、PTA行事のほかに、地域行事の「北山ふれあい企画」があり、地域住民の自主性・児童生徒の主体性を育てているという。西村孝子校長先生の言葉を借りるなら「学校は、お手伝いをするだけで、あくまでも地域住民中心。なにより学校自体が、地域の学びの場・ふれあいの場となっている」と

いうことで、地域の教育力が遺憾なく発揮されていることを実感した。これまでの教育成果としてあげられていた中で、とくに保護者の成果認知についてのデータは特筆すべきものであった。平成23年度北山校では「とてもよい」「よい」とする回答

が100%であったことはまさに驚きで、北山校がいかに地域に受け入れられているかが容易に想像された。

また、見学させていただいた木造校舎は、木のぬくもりと自然の香りが漂うもので、心が癒され落ち着いた雰囲気を感じ出していた。厚さ4センチの床板は、児童生徒をあたたく包み込む地域住民の思いやり・願いの象徴であるように感じた。木造校舎に甚く感動した委員は多かった。



佐賀県佐賀市北山校

# 産業建設常任委員会視察報告書

産業建設常任委員長  
会は7月18日～20日の日  
程で、広島県安芸郡海田  
町丸栄株式会社、広島県  
北広島町の行政視察を  
行った。

■カキ殻処理施設の見学  
等について  
(広島県安芸郡海田町  
丸栄株式会社海田工場)

視察目的  
七尾市において、現在、  
カキ殻は海中集積を行っ  
ているが、有効利用が進  
まず、大量のカキ殻が山  
積み状態になっており、  
景観上からも環境問題か  
ら大きな問題となっ  
ています。こういった状況  
の中で、カキ殻の利活用  
に向けた、カキ殻利活用  
施設の建設を計画して  
おり、参考のために視察を  
行った。

## 視察結果

会議室において、会社  
の概要やカキ殻を利用し  
製造されている飼料や肥  
料の製造工程の説明を受  
けた。また、飼料・肥料  
の成分についての説明も  
受けた。視察当日は、乾  
燥機が故障をしており、  
工場自体は稼働していな  
かったが、工場の視察も  
行った。工場敷地内  
は、海中保管後のカキ殻  
約5,000トンが野積  
みされていたが、全く臭  
いがないことに驚かされ  
た。海中で数カ月保管さ  
れ、その間に海中のプラ  
ンクトン等により、カキ  
殻に付着している貝柱等  
は分解され、純粋なカキ  
殻になることにより臭い  
がないとのことでした。  
この5,000トンのカ  
キ殻は約2カ月ほどで利  
活用され製品になるとの  
ことでした。また、会社  
が保有している海中保管  
場所も視察を行ったが、



丸栄株式会社海中保管場所

視察当日も約1万トンが  
保管されていた。カキ殻  
については、会社が保有  
している特殊作業船によ  
り、カキ養殖業者から無  
料で提供を受け、無料で  
回収をしているとのこと  
であった。  
施設見学終了後には会  
議室に戻り意見交換を  
行ったが、委員からは、カ  
キ殻を無料提供、無料回  
収をして儲けがあるのか  
など、コスト面での質問  
が多かった。当市におい  
ても、参考になる点が多  
くあり実りある視察で  
あった。

## 農業振興計画について (広島県北広島町)

### 計画策定の趣旨

「北広島町農業振興計  
画」は、平成17年2月の合  
併時に策定され、7年が  
経過した。この間、農業  
従事者の高齢化と減少が  
進むとともに、多くの農  
産物の価格低迷と生産資  
材価格の上昇又は高止  
まりによる所得の減少な  
ど、農業及び農村をとり  
まく情勢は厳しさを増し  
ている。これらを踏まえ、

計画における農業の現状  
と課題を整理するととも  
に、農業従事者、住民、関  
係団体、行政等が連携し  
農業の持続的発展を図る  
ために見直し、新たに策  
定した。

### 代表的な取り組み状況

#### ◆きたひろしまバザールの取り組み

きたひろしまバザール  
とは北広島産の「安心・  
安全な農産物」を大量に

直接販売する仕組みのこ  
とで、経営規模の大小、年  
齢に関わらず誰でも取り  
組むことができ、「作った  
ものが売れる喜び」を創  
出することにより農業所  
得の向上と地域活性化  
を目指す事業です。平  
成16年に町直営でオー  
プンし、昨年は2億3,  
000万円の売り上げが  
あった。(売り場面積は  
140㎡)

◆新規就農者研修等支援  
事業の取り組み  
農業の持続的発展のた  
めには、新規就農者をい  
かに確保・育成するかが  
重要かつ緊急の課題で  
あったが、現場技術の習  
得・初期投資のための資  
金調達・農地の確保等が  
バランス良く準備できな  
いと円滑な新規就農の妨  
げになっていた。このこ  
とから、新規就農者研修  
等支援事業を実施すると  
ともに、その事業の中核  
となる、生産・出荷・マ  
ネジメントまでの実践的  
研修を行い、その間に農

地及び施設確保等の支援  
措置を組み合わせること  
のできる研修施設を設  
置し、新規就農者の受け  
入れ態勢を整備している。  
農業振興計画は、魅力  
ある農業及び農村集落  
づくりを目指すとともに、  
定住促進と都市住民との  
交流拡大を推し進めて行  
くことであり、当市にお  
いても世界農業遺産の認  
定を機に農業及び農村集  
落は農産物を供給する役  
割だけでなく、水源の涵  
養、生物多様性の保持や  
人に安らぎを与える農村  
景観の保全など様々な役  
割があることを再認識  
し、地域の活性化につな  
げていきたい。



広島県北広島町

# 第2回 議会報告会開催のご案内

七尾市議会では、議員が直接地域に出向き、市民の皆様には議会の活動状況について報告し、同時に議会運営や議員活動に対する貴重なご意見などをお聴かせいただくため、第2回議会報告会を市内8ヶ所で開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、開催日程をご確認いただき、ご都合のよい会場に直接お越しください。事前の申込などは必要ございません。

## 【報告会の内容】

### ①議会報告

平成24年度第2回、第3回七尾市議会定例会での審議内容

### ②質 疑

## 【議会報告会開催日程】

開催日	会 場	担当班	開始時間
11月12日(月)	能登島市民センター	A班	午後7時から
	中島市民センター	B班	
11月13日(火)	徳田公民館	A班	
	北大呑公民館	B班	
11月20日(火)	石崎公民館	A班	
	フォーラム七尾	B班	
11月21日(水)	サンビーム日和ヶ丘	A班	
	七尾サンライフプラザ	B班	

※ 報告会の時間は、いずれの会場も1時間30分程度を予定しております。

## ■参加予定議員

○A班 代表：議長：石川邦彦

山添和良、岡部俊行、磯貝和典、杉木勉、荒川一義、松本精一、大林吉正、桂撤男、高僧弘

○B班 代表：副議長：垣内武司

山崎智之、佐藤喜典、木下敬夫、久保吉彦、伊藤厚子、永崎陽、中西庸介、今田勇雄、杉本忠一、木下孝輝

◎今議会において、提案された議会議案の結果は下記のとおりです。可決された意見書は、政府各関係機関へ提出しました。

議案番号	意見書名	採決結果
議会議案第11号	石川県におけるドクターヘリの早期整備を求める意見書	可決
議会議案第12号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決
議会議案第13号	自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書	可決
議会議案第14号	中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書	可決
議会議案第15号	税制全体の抜本改革の確実な実施を求める意見書	可決
議会議案第16号	北方領土問題の早期解決に関する意見書	可決
議会議案第17号	北陸新幹線のフル規格による早期完成に関する意見書	可決
議会議案第18号	パーキンソン病の特定疾患見直しの撤回を求める意見書	可決
議会議案第19号	障害者総合福祉法（仮称）の制定等に関する意見書	可決
議会議案第20号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	可決
議会議案第21号	デフレ対策の政策を求める意見書	可決
議会議案第22号	外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書	可決
議会議案第23号	緊急事態に対応する必要な法整備を求める意見書	可決
議会議案第24号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	可決
議会議案第25号	2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会の東京誘致に向けた決議	可決

## 議会の動き

### 8月

- 2日 能登総合開発促進協議会要望活動（東京都）  
能登空港機能強化に係る要望（東京都）
- 7日 教育民生常任委員会と公民館長との懇談会
- 9日 石川県市議会議長会総会（輪島市）
- 21日 佐渡市議会・能登五市議会議長会との意見交換会  
（新潟県佐渡市）（～22日）
- 24日 のと鉄道利用促進協議会総会（穴水町）
- 30日 議会運営委員会

### 9月

- 3日 第3回市議会定例会（～26日）

### 10月

- 21日 七尾市長・七尾市議会議員補欠選挙告示日
- 28日 七尾市長・七尾市議会議員補欠選挙投票日

## 人事案件

■選挙管理委員会委員・同補充員  
指名推選により選任されました。

◎委員

- 【大田町】 岩田 武雄 氏
- 【白浜町】 永田 道暉 氏
- 【能登島通町】 山本 吉昌 氏
- 【和倉町】 山本 喜憲 氏

◎補充員

- 【中島町奥吉田】 形田 正昭 氏
- 【垣吉町】 大原 藤光 氏
- 【能登島閨町】 林 茂一 氏
- 【小島町】 田治 康子 氏

■西岸財産区管理委員

- 適任者と認め同意しました。
- 【中島町別所】 堂端 浩 氏

## 【編集後記】

編集委員会委員  
杉木 勉

5人の議会だより編集委員会委員と共に、今まで以上に「読みやすく、分かりやすく」を基本とし、編集をしています。今後も、皆様からのご意見・ご指摘などを踏まえ、より良い議会だよりを作っていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

## おしらせ

議会だよりへの、市民の皆さんの率直なご意見・ご感想をお寄せください。なお、議会の会議録については、市内各図書館（中央・本府中・田鶴浜・中島）および能登島生涯学習総合センターに備えてあるほか、市のホームページでも閲覧できます。

七尾市議会事務局内 議会だより編集委員会  
TEL (0767) 53-8433  
<http://www.city.nanao.lg.jp>  
市のホームページからメール送信することもできます。